



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月10日

上場会社名 三菱瓦斯化学株式会社 上場取引所 東
コード番号 4182 URL <https://www.mgc.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）伊佐早 禎則
問合せ先責任者 （役職名）CSR・IR部長 （氏名）たき澤 諭 TEL 03-3283-5041
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	361,678	△6.8	25,145	△25.5	31,480	△15.9	△27,939	—
2025年3月期中間期	388,130	△2.9	33,752	52.7	37,444	50.1	24,724	△20.8

（注）包括利益 2026年3月期中間期 △20,898百万円（－％） 2025年3月期中間期 29,994百万円（△48.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△143.48	—
2025年3月期中間期	123.47	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	1,075,422	665,535	58.9
2025年3月期	1,119,688	697,375	59.7

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 633,293百万円 2025年3月期 668,222百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	50.00	95.00
2026年3月期	—	50.00			
2026年3月期（予想）			—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	730,000	△5.6	44,000	△13.5	50,000	△17.1	△17,000	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年3月期中間期	211,686,599株	2025年3月期	211,686,599株
2026年3月期中間期	16,943,576株	2025年3月期	16,977,506株
2026年3月期中間期	194,723,217株	2025年3月期中間期	200,243,400株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（業績予想に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明資料は、TDnetで同日開示しています。また、2025年11月10日（月）に証券アナリスト・機関投資家向けの決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況	2
(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況	3
(3) 当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等の注記)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間連結会計期間の経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)における世界経済は、AI関連分野への成長期待が高まる中、半導体関連の積極的な設備投資の動きが見られた一方、米国による関税政策を巡る交渉は決着しておらず、各国経済および需要動向に対して少なからぬ影響を与えております。加えて、主要国における金融政策や混迷を増す中東情勢の動向を受け、為替を含めた金融・資本市場はボラティリティの高い状況が継続しました。

このような状況下、当社グループは2024年度よりスタートした中期経営計画「Grow UP 2026」のもと、「事業ポートフォリオの強靱化」を目標として掲げ、資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、「Uniqueness & Presence事業へのフォーカス」「イノベーションによる新しい価値の創造」「重点管理事業の再構築」等の施策を推進しております。

当社グループの売上高は、電子材料の販売は堅調に推移したものの、円高に加え、エンジニアリングプラスチック及びメタノール市況の下落、オルソキシレンチェーンからの事業撤退等により減収となりました。

営業利益は、上記市況下落に加え、半導体向け薬液において台湾拠点の生産能力増強に伴う固定費の増加、メタキシレンジアミンとその誘導品での需要低迷と競争環境の激化、円高影響等により減益となりました。

経常利益は、メタノール事業に係る持分法損益が、主に為替影響により減少したことなどにより減益となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、経常利益の減益に加え、オランダのメタキシレンジアミン製造子会社において固定資産の減損損失を計上したことなどから純損失となりました。

以上の結果、当社グループの連結業績は、次のとおりとなりました。

単位：億円

	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	差異	増減率
売上高	3,616	3,881	△264	△6.8%
営業利益	251	337	△86	△25.5%
持分法損益	29	59	△29	△50.3%
経常利益	314	374	△59	△15.9%
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△279	247	△526	—

セグメント別の業績は次のとおりであります。

<売上高>

単位：億円

	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	差異	増減率
グリーン・エネルギー&ケミカル	1,411	1,639	△228	△13.9%
機能化学品	2,199	2,229	△29	△1.3%
その他	70	81	△11	△14.0%
調整額	△63	△68	+4	—
計	3,616	3,881	△264	△6.8%

<営業利益>

単位：億円

	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	差異	増減率
グリーン・エネルギー&ケミカル	43	101	△57	△56.9%
機能化学品	227	252	△24	△9.8%
その他	6	6	+0	+4.9%
調整額	△26	△22	△4	—
計	251	337	△86	△25.5%

<経常利益>

単位：億円

	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	差異	増減率
グリーン・エネルギー&ケミカル	62	142	△80	△56.4%
機能化学品	260	258	+1	+0.6%
その他	0	5	△4	△83.5%
調整額	△8	△33	+24	—
計	314	374	△59	△15.9%

〔グリーン・エネルギー&ケミカル〕

メタノールは、市況が前年同期に比べ下落したことなどから減収減益となりました。

メタノール・アンモニア系化学品は、アンモニアおよびMMAの市況は下落したものの、固定費減少等により売上高、営業利益ともほぼ前期並みとなりました。

エネルギー資源・環境事業は、発電用LNGの販売数量減少と原油価格下落により減収減益となりました。

メタキシレンジアミンとその誘導品は、欧米および中国向けの需要低迷、競争環境の激化、固定費の増加等により減収減益となりました。また、2025年9月17日に公表したオランダのメタキシレンジアミン製造子会社における建設工事の一時中断を受け、同社固定資産について減損損失を計上しました。

キシレン分離/誘導品は、オルソキシレンチェーンからの事業撤退により減収となったものの、事業撤退に伴う固定費減少等により増益となりました。

〔機能化学品〕

無機化学品は、半導体向け薬液における台湾拠点の生産能力増強に伴う固定費の増加、円高影響等により減収減益となりました。

エンジニアリングプラスチックは、ポリカーボネートの販売価格下落・販売数量減少による海外拠点の採算悪化により、減収減益となりました。

光学材料は、光学樹脂ポリマーの主用途であるスマートフォン向け需要において顧客側の在庫調整による販売数量減少、償却費等の固定費増により減収減益となりました。

電子材料は、半導体パッケージ用BT材料において品質対応強化に伴うコスト増加はあったものの、需要回復に加え、一部原材料の供給懸念等を背景として顧客側で在庫確保の動きが生じたこと、また、AIサーバー向け基板材料OPE®の販売数量が増加したことなどから増収増益となりました。

生活衛生関連製品は、脱酸素剤において輸出数量が減少したものの、今期から無機化学品より環境衛生薬品を移管した影響等により前年同期並みの損益となりました。

(2) 当中間連結会計期間の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて442億円減少の10,754億円となりました。

流動資産は、237億円減少の4,365億円となりました。減少の要因は、受取手形、売掛金及び契約資産の減少などです。

固定資産は、205億円減少の6,388億円となりました。減少の要因は、機械装置及び運搬具の減少などです。

負債は、124億円減少の4,098億円となりました。流動負債は、支払手形及び買掛金の減少などにより279億円減少しました。固定負債は、社債の増加などにより155億円増加しました。

純資産は、318億円減少の6,655億円となりました。減少の要因は、利益剰余金の減少などであります。
この結果、自己資本比率は58.9%となりました。

(3) 当中間連結会計期間のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前年同期比で120億円減少し、498億円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間は、前年同期比で57億円収入が減少し、298億円の収入となりました。減少の要因は、法人税等の支払額の増加などであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間は、前年同期比で97億円支出が減少し、399億円の支出となりました。減少の要因は、固定資産の売却による収入の増加などであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当中間連結会計期間は、前年同期比で54億円収入が減少し、32億円の収入となりました。減少の要因は、短期借入金の純増減額の減少による収入の減少などであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2025年8月7日に公表しました2026年3月期の連結業績予想などを修正しておりますので、本日公表の「特別損失(減損損失)の計上、中間期における業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	68,246	60,778
受取手形、売掛金及び契約資産	157,853	144,199
商品及び製品	119,814	115,446
仕掛品	20,291	22,375
原材料及び貯蔵品	67,421	68,259
その他	27,399	26,312
貸倒引当金	△757	△839
流動資産合計	460,268	436,531
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	94,996	103,053
機械装置及び運搬具（純額）	118,969	116,825
その他（純額）	152,595	122,848
有形固定資産合計	366,560	342,728
無形固定資産		
のれん	15,310	14,530
その他	9,685	9,877
無形固定資産合計	24,995	24,408
投資その他の資産		
投資有価証券	233,519	238,091
その他	36,101	35,620
貸倒引当金	△1,758	△1,957
投資その他の資産合計	267,863	271,754
固定資産合計	659,419	638,891
資産合計	1,119,688	1,075,422

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	103,087	83,983
短期借入金	75,617	87,456
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	9,092	8,067
引当金	8,493	8,484
その他	68,639	58,961
流動負債合計	274,929	246,954
固定負債		
社債	35,000	55,000
長期借入金	79,441	71,183
引当金	926	799
退職給付に係る負債	4,015	4,198
資産除去債務	7,022	7,041
その他	20,977	24,709
固定負債合計	147,382	162,933
負債合計	422,312	409,887
純資産の部		
株主資本		
資本金	41,970	41,970
資本剰余金	35,554	35,764
利益剰余金	554,224	516,549
自己株式	△30,956	△30,894
株主資本合計	600,792	563,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,472	18,276
繰延ヘッジ損益	232	234
為替換算調整勘定	44,892	43,524
退職給付に係る調整累計額	8,831	7,868
その他の包括利益累計額合計	67,429	69,903
非支配株主持分	29,153	32,242
純資産合計	697,375	665,535
負債純資産合計	1,119,688	1,075,422

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	388,130	361,678
売上原価	298,729	280,865
売上総利益	89,400	80,813
販売費及び一般管理費	55,648	55,668
営業利益	33,752	25,145
営業外収益		
受取利息	749	703
受取配当金	1,738	3,072
為替差益	—	1,521
持分法による投資利益	5,943	2,954
その他	971	1,324
営業外収益合計	9,403	9,576
営業外費用		
支払利息	1,427	1,192
出向者労務費差額負担	622	708
為替差損	1,992	—
その他	1,668	1,340
営業外費用合計	5,711	3,241
経常利益	37,444	31,480
特別利益		
固定資産売却益	—	3,536
投資有価証券売却益	118	1,066
受取保険金	—	511
補助金収入	983	185
事業構造改善引当金戻入額	—	114
特別利益合計	1,101	5,415
特別損失		
減損損失	187	50,200
損害補償損失	—	499
貸倒引当金繰入額	100	324
固定資産圧縮損	669	—
事業構造改善引当金繰入額	589	—
事務所移転費用	115	—
特別損失合計	1,662	51,024
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	36,884	△14,127
法人税等	8,564	10,147
中間純利益又は中間純損失(△)	28,320	△24,275
非支配株主に帰属する中間純利益	3,595	3,663
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失(△)	24,724	△27,939

(中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益又は中間純損失(△)	28,320	△24,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,907	4,790
繰延ヘッジ損益	134	6
為替換算調整勘定	1,069	1,852
退職給付に係る調整額	△1,397	△1,114
持分法適用会社に対する持分相当額	3,775	△2,158
その他の包括利益合計	1,674	3,377
中間包括利益	29,994	△20,898
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	25,743	△25,465
非支配株主に係る中間包括利益	4,250	4,567

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失(△)	36,884	△14,127
減価償却費	16,851	18,572
固定資産処分損益(△は益)	438	△3,052
のれん償却額	900	798
持分法による投資損益(△は益)	△5,943	△2,954
減損損失	187	50,200
損害補償損失	97	499
補助金収入	△983	△185
貸倒引当金の増減額(△は減少)	200	270
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	24	△1,453
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1,239	42
受取利息及び受取配当金	△2,488	△3,775
支払利息	1,427	1,192
有価証券及び投資有価証券売却損益(△は益)	△172	△1,136
有価証券及び投資有価証券評価損益(△は益)	36	4
売上債権の増減額(△は増加)	15,711	13,887
棚卸資産の増減額(△は増加)	△5,129	2,845
仕入債務の増減額(△は減少)	△15,996	△18,314
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,051	3,160
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△80	△11
その他	△5,023	△14,338
小計	36,753	32,123
利息及び配当金の受取額	2,464	3,795
持分法適用会社からの配当金の受取額	3,131	3,435
利息の支払額	△1,463	△1,163
法人税等の支払額	△5,626	△8,417
損害補償の支払額	—	△705
補助金の受取額	239	269
保険金の受取額	90	513
営業活動によるキャッシュ・フロー	35,589	29,850

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△41,453	△44,979
固定資産の売却による収入	232	4,056
投資有価証券の取得による支出	△2,802	△572
投資有価証券の売却による収入	318	1,488
貸付けによる支出	△203	△541
貸付金の回収による収入	116	470
その他	△5,866	173
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,658	△39,904
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,602	△8,771
長期借入れによる収入	9,710	11,949
長期借入金の返済による支出	△3,133	△2,429
社債の発行による収入	—	19,914
社債の償還による支出	—	△10,000
自己株式の取得による支出	△3	△2
自己株式の売却による収入	—	0
配当金の支払額	△8,009	△9,735
非支配株主への配当金の支払額	△23	△1,205
その他	△450	3,495
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,691	3,214
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,238	△301
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,138	△7,141
現金及び現金同等物の期首残高	65,397	56,985
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	615	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	61,874	49,844

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I. 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	グリーン・エネルギー&ケミカル事業部門	機能化学品事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	中間連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	158,444	222,682	7,003	—	388,130
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	5,519	224	1,147	△6,892	—
計	163,964	222,907	8,151	△6,892	388,130
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	14,292	25,887	582	△3,317	37,444

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない仕入販売等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△3,317百万円は、セグメント間取引消去160百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△3,478百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他の事業」において、187百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ. 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	グリーン・エネルギー&ケミカル事業部門	機能化学品事業部門	その他の事業 (注)1	調整額 (注)2	中間連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	136,165	219,762	5,750	—	361,678
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,956	173	1,263	△6,393	—
計	141,121	219,936	7,013	△6,393	361,678
セグメント利益又は損失 (△) (経常利益又は経常損失 (△))	6,224	26,048	95	△887	31,480

(注) 1. 「その他の事業」には、報告セグメントに属していない仕入販売等を含んでおります。

2. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△887百万円は、セグメント間取引消去58百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用等△946百万円であります。

全社費用は、報告セグメントに配分していない一般管理費、金融収支、雑損益等であります。

3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「グリーン・エネルギー&ケミカル事業部門」において、50,200百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。